

(Cited Reference 2)

JP-Utility Model Publication No. (Sho) 52-23625

Publication Date: May 30, 1977

Application No.(Sho) 47-79339

Application Date: July 5, 1972

Inventor: T.Okura

Applicant: Honda Giken Kogyo K.K.

⑩日本国特許庁

⑪実用新案出願公告

実用新案公報

昭52-23625

⑫Int.Cl²

識別記号 ⑬日本分類

庁内整理番号 ⑭公告 昭和52年(1977) 5月30日

F 01 N 3/15

51 D 51

6941-32

(全2頁)

1

2

⑮エンジンの排気浄化器

⑯実 願 昭47-79339

⑰出 願 昭47(1972)7月5日

公 開 昭49-36328

⑱昭49(1974)3月30日

⑲考 案 者 大倉孝男

埼玉県入間郡大井町亀久保

1224の11

⑳出 願 人 本田技研工業株式会社

東京都渋谷区神宮前6の27の8

㉑代 理 人 弁理士 石川栄一

(公害防止関連技術)

㉒実用新案登録請求の範囲

エンジンの排気管に連る排気浄化器の外筒内に、
両端外周を互いに逆方向のテーバ面に形成した触
媒類を浮動的に収容し、それらテーバ面を、上記
外筒に対して軸方向の移動を制止された弾性支持
部によつて、軸方向に摺動自由に支承したことを
特徴とするエンジンの排気浄化器。

考案の詳細な説明

エンジンの排気管に排気浄化器を連結し、それ
に内蔵した触媒類によつて、排気中に含有された
未燃焼生ガス類の燃焼等の化学反応を促進するこ
とは既に知られている。しかしながらこの場合、
上記触媒類が甚だしく熱膨張すれば、それを収容
する外筒によつて触媒類が激しく押圧されて破損
するに至る不具合を生じる。

本考案は、上記触媒類を軸方向およびそれに直
角方向の熱膨張が軽く許容されるように支承し、
よつて上記不具合を回避した構成簡単な排気浄化
装置を得ることを目的とする。

次に図面について説明する。

1は排気管2を介してエンジン(図示せず)に
連る排気浄化器であつて、その外筒1A内に浮動
的に収容した触媒類3の両端外周は勾配θの互い

に逆方向のテーバ面4, 4Aに形成される。5お
よび5Aはテーバ面4, 4Aをそれぞれ摺動可能
に抱持する欠円状弾性環であつて、それぞれ両側
に欠円状突片6, 6および6A, 6Aを有する。
7は(第2図)欠円状弾性環5, 5Aに設けた切
欠部である。そして欠円状弾性環5, 5Aと外筒
1Aとの間に波形弾性環8, 8Aをそれぞれ介入
し、欠円状弾性環5と波形弾性環8によつて弾性
支持部9を形成し、欠円状弾性環5Aと波形弾性
環8Aによつて弾性支持部9Aを形成する。10,
10Aは外筒1Aの内面に突設した支片である。
しかして弾性支持部9, 9Aは、それぞれテーバ
面4, 4Aに沿つて外方に移動する傾向を有する
と共にその移動がそれぞれ支片10, 10Aによ
つて阻止されるから、それら弾性支持部9, 9A
の軸方向の移動は実質的に制止され、触媒類3は
テーバ面5, 5Aを介して弾性支部9, 9Aによ
り正規の位置に保持される。

触媒類3が加熱されてその軸方向およびそれに
直角方向に膨張すれば、テーバ面4, 4Aが欠円
状弾性環5, 5Aに対してそれぞれ軸方向に摺動
すると共に、テーバ面4, 4Aが欠円状弾性環5,
5Aをそれぞれ拡張することによつて波形弾性環
8, 8Aをそれぞれ弾性的に撓曲する。また触媒
類3が軸方向に膨張収縮することによつてそれが
第1図において例えば左方に少しく移動したとす
れば、左方のテーバ面4に対する弾性支持部9の
圧力が右方のテーバ面4Aに対する弾性支持部
9Aの圧力より強くなり、続いて触媒類3が膨張
収縮する間にそれが左方に移動されるので、触媒
類3は常に左右の弾性支持部9, 9A間の適正位
置に支持される。

このように本考案によれば触媒類3が軸方向お
よびそれに直角方向に比較的自由に軽く膨張収縮
しうるので、それが外筒1Aなどに当つて強圧破
損されることがないと共に触媒類3が常に適正位
置に支持される効果を達成する。さらに本考案に

3

4

おいては、触媒類3の外周を弾性支持部9、9Aによつて支承して、その正面に排気流入に対する障害物が存在しないようにしたから、触媒類3が全体的に略一様に排気浄化作用を行うので能率的であるばかりでなく、組立て操作が容易となる効果をも達成する。

なお、図面に示すようにテーパ面4、4Aを外方に狭くすることなく、外方に広くすることもできる。

図面の簡単な説明

第1図は本考案排気浄化器の縦断側面図、第2

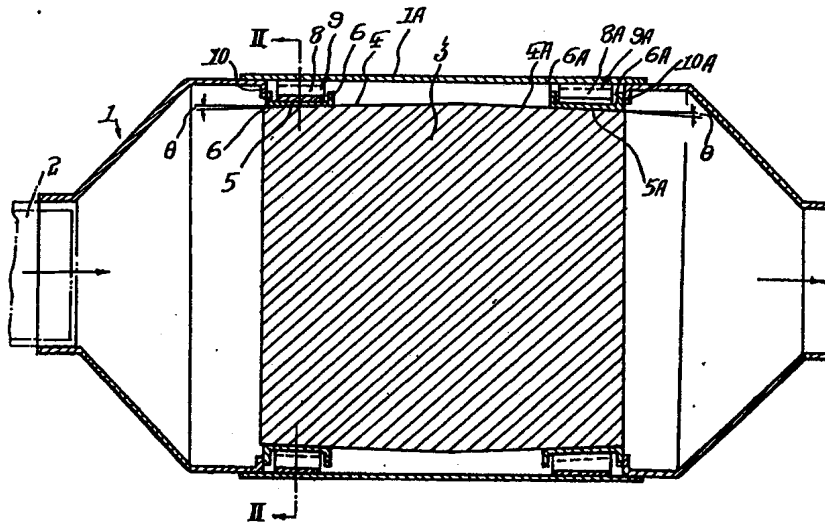
図はそのⅡ-Ⅱ断面図である。

図面の符号中、1は排気浄化器、1Aはその外筒、2は排気管、3は触媒類、4および4Aはテーパ面、5および5Aは欠円状弾性環、6および6Aは欠円状突片、8および8Aは波形弾性環、9および9Aは弾性支持部、10および10Aは支片である。

10 ⑤引用文献

実 開 昭48-85011

第1図



第2図

